



2020年5月28日
(2021年1月17日更新)
東葉高速鉄道株式会社

新型コロナウイルス感染症対策に関する当社の取組

当社では新型コロナウイルス感染症対策のため「鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」に基づき、次の取組を進めています。

駅においては、係員がマスクを着用(※1)して業務を行うとともに、窓口にはビニールカーテンを設置しています。車両については、車内をまるごと抗ウイルス・抗菌処置しているほか、窓開けや空調設備による換気を行っています。さらに、駅構内の券売機や手すり、車両のつり革などお客さまが触れる部分については定期的に消毒を行っています。

(※1) 係員の熱中症予防のため、マスクの代わりにフェイスシールドを着用する場合がございます。

ご利用のお客さまにおかれましても、駅構内や車内ではマスクを着用し、会話は控えめにさせていただくとともに、ラッシュ時間帯(※2)のご利用を避ける時差通勤・通学にご協力をお願いいたします。

(※2) 当社線の朝の混雑ピークは、西船橋駅着7時10分～8時10分頃です。

1月13日のご利用状況については、[こちら](#)をご覧ください。



改札窓口でのビニールカーテン使用



券売機タッチパネルの消毒



手すり等の消毒



車両内の抗ウイルス・抗菌処置

(参考) [「鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン（日本民営鉄道協会HP）」](#)

以上